2021 年全日本自転車競技選手権大会(ジュニアトラック)
2021 年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会
テクニカルガイド

Ver 210702

1　競技場開場時間

7月17日(土)・18日(月)　　8:00～

2　駐車場

競技場東側駐車場は選手待機所として使用するため各チーム1台のみ駐車可(状況により移動させていただく場合があります)、大型車及び2台以上の車両は北側駐車場に駐車してください。

3　受付(ライセンスコントロール)

日時　　7月16日(金)　15:00～16:00
場所　　管理棟1F大会本部付近で行います。
提出物　JCF 競技登録証(選手・コーチ)、参加同意書、ジャージの確認
配布物　ゼッケン、ID カード**(ケースは各自持参ください。(15cm×10cm))、リザルト(各選手1冊)**

4　無観客開催について

本大会は、原則無観客で開催いたします。(IDカードが無い者は入場をお断りします。)

5　ユニフォーム

プログラム掲載チームのチームジャージ着用を原則としますが、JOC男女U15については市販品の使用も可とします。その場合は無地に近いデザインのものを着用してください。

6　自転車・機材の保管

大会前日のトレーニング時間終了後及び初日の競技終了後、管理棟内を一部保管所として開放致します。スペースに限りがありますので各自その辺りを考え使用してください。なお、管理につきましては各自の責任でお願いいたします(主催者及び施設管理者は盗難・破損・紛失等について一切責任を負いません)。

7　トイレ及び女子更衣室

管理棟内1F に設置されていますので使用してください。

8　選手入退場路(地下道)

走路(インフィールド)への入場は原則、この通路を使って入場してください。なお通路には物を置かない事を原則とします。コロナ感染防止対策により、ローラーアップや待機場としては使用しないこと。
入退場通路のみといたします。

9　選手待機所

本大会においては管理棟内に選手待機場所は設けませんのでご了承ください。
スペースは限られますが選手用テントを駐車場内に設けますので上手く譲り合い有効にお使いください。
※テント数　2間×3間サイズ　10張り

10　オフィシャルトレーニング

9月16日(金)		
12:30～12:55	東海・北信越・近畿ブロック	
13:00～13:25	中国・四国・九州ブロック	
13:30～13:55	東北・関東ブロック	
14:00～14:25	女子選手	

14:30～14:55	U17(中学生以下)・U15 選手	

※注意事項

・トレーニングの際、走路内の人数が40名を超えた場合、走路入場を制限する場合があります。

・7月16日（金）については大会専属の医師は常駐しません。現場で対処できることが限られる為、そのことを了解した者のみトレーニングを認めます(緊急搬送の対処とします)。

11　競技場　施設案内

① 管理棟内　大会本部

② 管理棟内　受付・ライセンスコントロール場所

③ 選手用駐車場（東側駐車場は待機所としても使用、個人テント可・大型車不可）

④ 選手送迎車両駐車場（北側駐車場は車両駐車専用として使用、個人テント不可・大型車等はこちらへ）

⑤ 競技役員用駐車場

⑥ 選手用テント「2間×3間　2張り」×5ヶ所（日除け・雨除けとして）

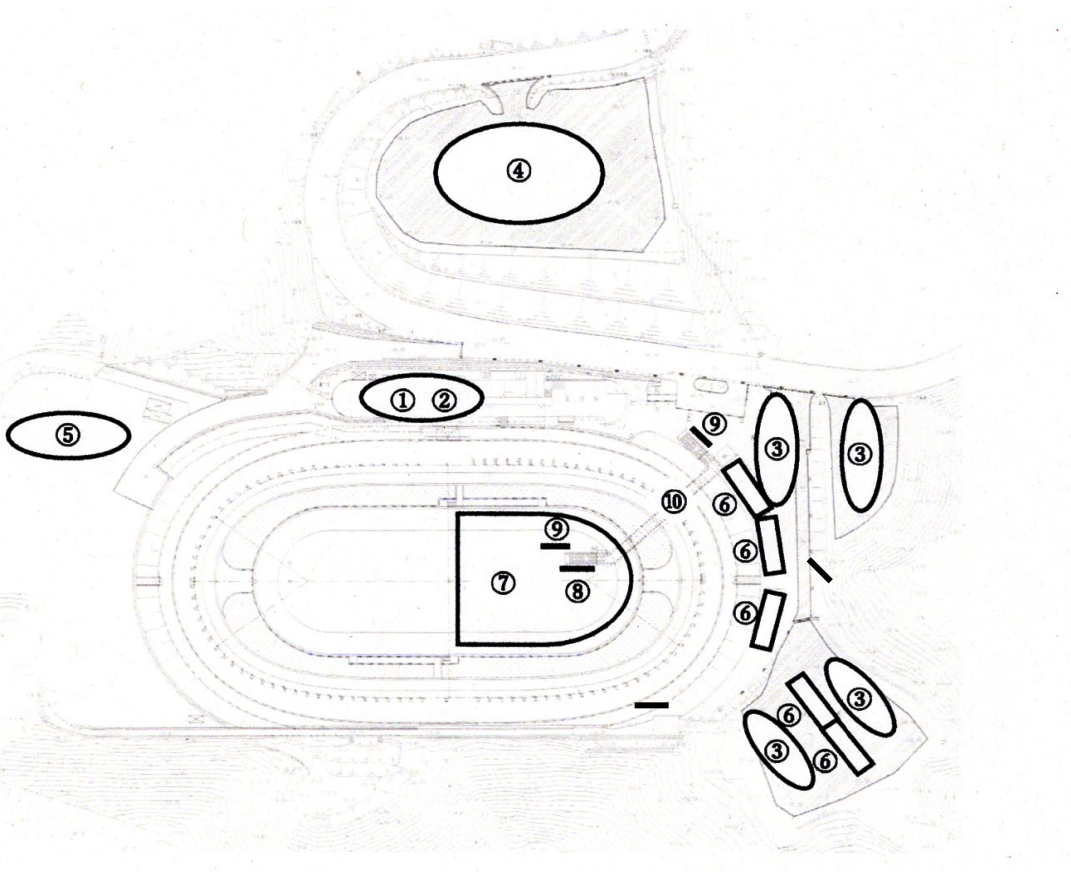
⑦ インフィールド内　東側半分　個人テント設置可能区域

⑧ バイクチェック・招集

⑨ コミニュケボード　2ヶ所に設置

⑩ 選手入退場路（地下道）

※トイレ・女子更衣室は管理棟内に設置



12　競技運営・確認事項・大会特別規則

1　競技運営

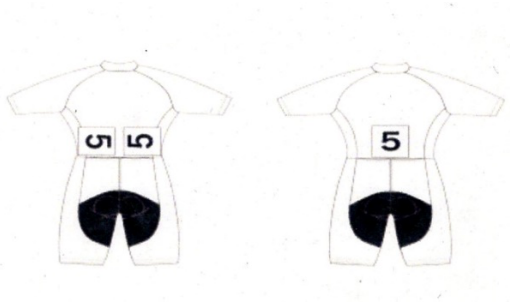
主要競技役員

総務委員長　　中梶　秀則　　審判長　　炭竈　純一

ｺﾐｯｾｰﾙﾊﾟﾈﾙ　　藤森　麻子　坂井田米治　飯田太文　藤森信行

2　大会特別規則

（1）ボディナンバーの装着（図のように装着してください。）



ｽﾌﾟﾘﾝﾄ（予選含む）・ｹｲﾘﾝ・ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ　　ﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ・ﾊﾟｰｼｭｰﾄ

（2）招集・自転車検査

招集および自転車検査は各自の出走予定15分前までに完了すること。

（4）表彰について

表彰は各種目上位3名のメダルセレモニーとして行う。

メダルセレモニーは競技場アリーナ内にて行う。

賞状についてはメダルセレモニー後に本部にて受け取ること。

（5）スプリント

（男子）予選タイムの上位8名により1／4決勝を行う。1／4決勝は1回戦制とする。

（女子）予選タイムの上位4名により1／2決勝を行う。

コース抽選は次走選手待機所で出発合図員が行う。

（6）タイムトライアル

ホーム／バックからの同時スタートで行う。

ホーム／バックの両方がスターティング・マシーンに固定した段階で30秒のカウントダウンを開始する。

ワンラウンド制で行う。

（7）ケイリン

JCF 競技規則を適用する。（高体連特別規則は適用しない。）

勝ち上がり方法　男子　1回戦は各組2名勝ち上がり，敗者復活戦，準決勝は3名勝ち上がりとなります。

女子　1回戦は各組3名勝ち上がりとなります。

コース抽選は、スプリント同様で行う。

（8）ポイント・レース

男子決勝は16km，女子決勝は12km

（スペシャルゼッケンを使用する。招集時にて配布。）

13 大会運営における新型コロナウイルス感染予防の具体策

大会参加者の共通予防対策

1．大会参加について

〇選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された学校については、大会へ参加することはできない。

〇大会の2週間前から検温結果及び、体調について別紙の体調管理表に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に周知する。

2．移動・宿泊について

〇大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて、可能な限り換気に努める。

〇大会参加者が宿泊を伴う場合は、宿舎からの不要不急の外出を避けること。

3．感染予防のための4つの基本行動

〇 体調管理とその報告

〇 マスクの着用

〇 人と人との距離を確保

〇 こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1．選手、監督、コーチの感染予防対策

(1)集合時の感染予防対策

〇大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。

〇大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。

〇大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。

〇格納庫は機材の出し入れ時のみとし、整備等での利用はしない。

(2)大会受付時の感染予防対策

〇受付等において、参加者同士が十分な距離を確保して並び、受付する。

〇選手個人での受付はなるべくせず、各チームが代表して行う。

〇受付時に、参加同意書を各チームでまとめて提出する。

(3)待機中の予防対策

〇参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感じるようであれば、マスクを無理に着用しない。

〇参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保して待機する。

〇大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

〇ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。

〇試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。

〇タオルの共用はしないこと。

〇選手は指定された待機場所を利用し、個人間の距離を確保して過ごす。

〇飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。

〇更衣室は、1 回に利用できる人数は 1 名とし、換気をしながら使用する。

〇トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い 30 秒以上しっかり手指を

洗浄すること。

(4)試合中の感染予防対策

〇監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。
〇選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
〇試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
〇運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
〇試合中、選手どうしは前走者の人の呼気の影響を避けるよう、位置取りに注意する。
〇試合中、選手は唾や痰をはくことを極力しない。
〇試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。

(5)試合後の感染予防対策

〇開閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限し速やかに執り行う。
〇参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。
〇ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。

2. 運営スタッフの感染予防対策に係る動向

(1)集合時の感染予防対策

〇大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
〇大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。
〇大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。競技場に設置してある施設使用調査票を記入し、提出する。

(2)受付時の感染予防対策

〇受付場所において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。
〇受付業務を行う運営スタッフは対面を避け、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽した状態をつくり受付を行う。

(3)生徒待機場所、待機中における予防対策

〇大会主催者は、参加者へマスクを持参させ、スポーツを行っていない時や会話をする時はマスク着用を呼びかける。
〇大会主催者は、個人間の距離(できるかぎり2m以上)を確保できる控え場所を設営する。
〇運営スタッフは、大会参加者や観客に対し、大会中に大きな声で会話、応援等をしないよう声をかける。
〇運営スタッフは、大会参加者や観客に対し、飲食時は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事するよう声をかける。
〇運営スタッフは、複数の参加者が触れる箇所(ドアノブ、トイレ、洗面所のレベー、手すりなど)は、定期的にアルコール等で消毒する。

(4)試合中の感染予防対策

〇運営スタッフは、運営業務に当たるとき必ずマスクを着用する。
〇運営スタッフは、試合の前後だけでなく試合中も、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
〇運勢スタッフは、試合中、業務上必要な時以外は、大きな声で会話をしないこと。
〇運営スタッフは、選手の呼気の影響を避けるよう、配置に注意して業務にあたる。
〇運営スタッフは、大会参加者や観客が、密な状態とならないよう声をかける。

(5)試合後の感染予防対策

〇参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる 体制を確保する。
また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

〇大会終了後のミーティングは短時間で行い、慰労会等の開催は三つの密を避けること。